

大崎上島町 社協だより

No. 191
2019(平成31)年3月発行

〒725-0401 広島県豊田郡大崎上島町木江5-9
社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会 (TEL 0846-62-1718)
ホームページ <http://www.syakyo.net/>



高
齢
者
巡
回
相
談
員
の
研
修
会
を
行
い
ま
し
た



アンガーマネジメント

6秒で**怒り**はクールダウンできる



美
氏

講師 棚多 里美 さん



3月7日(木)、木江保健福祉センターにおいて、高齢者巡回相談員研修会を開催しました。今回の研修会では、公益財団法人 広島県男女共同参画財団 常務理事の棚多さんを講師に招き、「女性のためのアンガーマネジメント」と題し、お話しいただきました。

「怒り」と上手に付き合っていくために必要なことを、日常生活の中でのエピソードを交えながら説明していただき、会場からは時に笑いも起こるほど、アットホームな雰囲気で開催できました。訪問活動のことだけでなく、相談員の普段の生活にも視点を置いた有意義な研修となりました。

サロン協力員連絡会を開催しました

2月20日(水)、木江保健福祉センターにおいて、サロン協力員連絡会を開催しました。

今回は85名の方にご参加いただき、今年度のサロン活動の振り返りや、円光 歩さんを講師に招き、「10年後の自分を考えよう!!」と題し、グループに分かれて年を重ねた時に何が一番大切なのかを、カードゲームを使って考えました。

円光さんからは、このゲームを通して、『サロンはたくさんの方が関わっていて、それぞれに大切なものがあり、お互いのことを分かり合おうとすることが大切』という言葉もあり、参加者から色々な感想やご意見をいただき、サロン活動の大切さや自分達の地域について改めて考える機会となりました。



講師
円光 歩さん



連絡会に参加していただいた協力員の皆さま、ありがとうございました。サロンでそれぞれレクリエーションやものづくり、季節の行事などを企画し工夫されています。今回、社協にあるレクリエーション道具を再度整理し、ゲスト一覧とともにお渡ししました。

サロンの参加者がそれぞれの大切にしていることを互いに知り、参加するみんなが楽しめることを大事にして、今後も「気軽に」「楽しく」笑い合ってサロンで過ごしましょう!!

引き続き、地域の中でサロン活動が活発に運営できるよう社協も応援させていただきます。

おんが 笑
あなま

逆さにして文字を見てみると…



老人クラブ連合会だより

東野地区 地域活動研修会



2月1日（金）に東野保健福祉センターで、東野地区地域活動研修会を開催しました。

「災害の危険を感じたら、如何に命を守る行動をとるか」と題し、明朗会会長 向井 秀基さんより、阪神淡路大震災での実体験をもとにご講演いただきました。

日頃からの会員同士の助け合いや、災害が大きくなる前の避難行動（避難準備情報が出たらすぐに行動に移すこと）が大切であることをお話し頂きました。



木江地区 地域活動研修会



2月27日（水）木江保健福祉センターで、木江地区地域活動研修会を開催しました。

今回は「防災カードゲーム」を使って、災害時に役立つ応急処置やけが人救助の方法を学びました。災害で物品が揃わない時、どのような工夫があるかをゲームで体験することで、より親しみやすく対処法について学ぶことができました。

参加者からは、災害に対して具体的な備えを学ぶことができ良かったとの声をいただきました。

日本赤十字社 大崎上島町分区よりお知らせ



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

3月に、日本赤十字社広島県支部より新しい災害救援車両を配備していただきました。

大崎上島町での日本赤十字社の活動や、災害支援等に活用させていただきます。

今後とも、日本赤十字社をこれからも宜しくお願い致します。



もしものための「命の宝箱」を 点検する時期がまいりました！

「命の宝箱」(救急医療情報キット)とは

大崎上島町社会福祉協議会では、平成 21 年度から「地域づくり会議」において取り組みが始まりました。

自宅で具合が悪くなり、救急車を呼んだ時など「もしも…」の時に備えるものです。

「命の宝箱」には緊急安心シートなどを入れて、自宅の冷蔵庫(ドアポケット)に保管しておきます。救急時には救急隊員や近隣住民が冷蔵庫から取り出し、適切な救急医療活動のために活用します。

★「命の宝箱」を設置することにより、医療機関での処置、家族への連絡が迅速に行えます。



「緊急安心シート」「服薬内容説明書」「保険証のコピー」等を入れておきます。

※緊急安心シートには①かかりつけの病院、②持病・アレルギー、③服用している薬、④家族や親戚などの緊急連絡先などを記入しておきます。

救急隊がかけつけた時に

～ 救急時のながれ ～

①玄関のドアに貼ってあるシールを見て、「命の宝箱」があることを発見します。



②冷蔵庫のドアのシールを見て、中に「命の宝箱」があることを確認します。



③冷蔵庫から「命の宝箱」を取り出し、救急医療情報を確認します。



速やかに救急医療を受けることができます



なじみの人の中で、自分のペースで暮らすために！④

～自分のできること、できそうなこと、希望を大事に～

センターでは、様々な相談対応を行っています。相談での提案の例をご紹介します。サービスの利用等では手続きの必要なものがあります。これを参考にまたご相談ください。

【片づけの困りごと②】 遠方の家族は、帰省したときに、本人の家の中にゴミ袋が捨てられず置いてあったり、通帳が無くなったりしていたことに気づかれ、本人のひとりでの生活がとても心配であるが、家族は遠方であるため支援が難しい状況である。本人は、近所に買い物に行くこともある。自分なりに片づけている、困っていない、人に迷惑をかけたくないと言われる。近所の親しい人にはお財布が盗られることがあると言われることがある。

⇒ 家族は自宅の衛生面・金銭管理が心配。本人は困っていないと言われるが、片付けられていない環境やお財布が盗られることに困っている可能性もある。

例えば、社協の支援では
支え合うきっかけづくり☆

・介護サービスや地域で支援してもらえる制度について
相談にのってもらう

くらしの相談会・ふくし相談会

・登録ボランティアと、一緒に
ゴミ出しの分別とゴミ出し
を行い、それが縁で、気
かけ合う関係を作る

かみじまネット



・有料で、お金の出し入れなどのお手伝いをしてもらう
かけはし（福祉サービス利用援助事業）

例えば、役場の相談会

・メンタルの不調や物忘れの心配など
ないか相談にのってもらう

こころの健康相談（保健衛生課）

・物忘れの心配などないか相談に
のってもらう

認知症に関する個別相談会（福祉課）

かかりつけのお医者さん

・体調に変わりはないか、メンタルの心配を
しなくていいか受診時に相談にのってもらう

例えば、自分・家族でできること

- ・地域のサロンやいきいき百歳体操に参加する。（人との交流や運動は認知症予防となる）
- ・家族も、片付けられる時間を作り支援されたり、お財布を一緒に探すなどしつつ、本人とお金の管理について、これからどうやって管理していけば安心できるか、話し合う。
- ・家族が、近所の人に、本人について心配していることを伝え、本人が困っていることを言われていたら連絡してもらえないか、相談を試みる。

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいたご寄付は、福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

【平成31年2月9日～平成31年3月8日お申し出分】

【香典返し】

- ・中野 上田 泰登 様 (故父 政和 様)
- ・原田 末田 弘子 様 (故夫 貞夫 様)
- ・中野 松浦 隆幸 様 (故母 八重子様)
- ・東野 越智 正信 様 (故母 フジエ様)
- ・中野 川本 孝司 様 (故父 榊 様)
- ・沖浦 釋舎 龍三 様 (故父 龍夫 様)

【一般寄付】

- ・大崎上島けんこう文化の島づくり協議会様
(すみれ祭りフリーマーケット売上)
- ・匿名 (1名様)



かみじまネット協力員 随時募集中!



かみじまネット協力員 随時募集中!



介護者家族会

～4月定例会のご案内～

日時：4月12日(金)

10:00～11:30

場所：大崎老人福祉センター

1階「すまいるーむ」

対象者：在宅で介護されている方
もしくは、介護されていた方



ふくし相談会 & 暮らしの相談会

日時：4月2日(火)

13:30～14:30(受付)

場所：東野保健福祉センター

内容：介護保険制度の利用や
福祉に関するご相談

対象者：大崎上島町にお住いの方



認知症の人と家族の会

～4月定例会のご案内～

日時：4月26日(金)

9:30～11:30

場所：オレンジハウス

対象者：認知症状がある方

在宅で介護されている方



外出支援協力員募集!

大崎上島町社協では、バスなど公共交通機関の利用が困難な方で、ご家族から送迎の支援が難しい高齢者や障害者の方を病院へ送迎する「外出支援サービス」の運転協力員を募集しています。

運転協力員となっていただくには、国土交通大臣が認定する簡単な講習会の受講が法律で義務付けられています。

今回の講習会は次のとおり開催されます。

日程：4月6日(土)、4月20日(土)の2日間

会場：下見福祉会館(東広島市)

※受講に係る、交通費、受講料などは本会が負担します。



ご協力いただける方は、**3月22日(金)までに**

社協本所(☎62-1718) 担当：安本、塩飽(しわく)までご連絡ください。

「社協だより」は、皆様からの社協会費・寄付金などにより、発行させていただいております。